

2016 年

登録ランドスケープアーキテクト(RLA)資格認定試験

登録ランドスケープアーキテクト補(RLA補)資格認定試験

1 次試験 (その 2) 問題用紙

注 意 事 項

- ① 本試験は、No. 1～No. 80 の 80 問で、解答時間は1時間 20 分(80 分)です。
- ② 問題は全問必須ですから、80 問すべて解答してください。なお、配点は1問1点で、80 点満点です。
- ③ 解答用紙(マークシート)に受験番号・氏名を記入し、受験番号欄は、該当番号もぬりつぶしてください。
- ④ 解答は、解答用紙(マークシート)に HB の鉛筆または芯が HB のシャープペンシルで記入してください。
- ⑤ 解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。
- ⑥ 当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を1つぬりつぶしてください。なお、正解は1 問につき1つしかありませんので、2つ以上ぬりつぶした場合は正解としません。
- ⑦ 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
- ⑧ この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。ただし、解答用紙(マークシート)は、計算等に使用しないでください。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙(マークシート)を裏返して机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままお待ちください。
- ⑩ この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No.1

葉が展開する前に花が咲く樹木として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ヤマザクラ (*Cerasus jamasakura*)
- ② コブシ (*Magnolia kobus*)
- ③ サンシュユ (*Cornus officinalis*)
- ④ ユキヤナギ (*Spiraea thunbergii*)

No.2

自然樹形で逆円錐形を成す樹木として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ケヤキ (*Zelkova serrata*)
- ② スズカケノキ (*Platanus orientalis*)
- ③ ユリノキ (*Liriodendron tulipifera*)
- ④ ヒマラヤスギ (*Cedrus deodara*)

No.3

初夏の雑木林において、たくさんの漏斗状の白い花が下垂して咲いている樹木が見られた。
この樹木の名称として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ヤマボウシ (*Cornus kousa*)
- ② リョウブ (*Clethra barbinervis*)
- ③ エゴノキ (*Styrax japonica*)
- ④ ナツツバキ (*Stewartia pseudocamellia*)

No.4

雌雄異株の樹木として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① アオキ (*Aucuba japonica*)
- ② クロガネモチ (*Ilex rotunda*)
- ③ タブノキ (*Machilus thunbergii*)
- ④ ヤマモモ (*Myrica rubra*)

No.5

臨海部の公園の広場に植栽する緑陰樹として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① アキニレ (*Ulmus parvifolia*)
- ② タブノキ (*Machilus thunbergii*)
- ③ コブシ (*Magnolia kobus*)
- ④ エノキ (*Celtis sinensis*)

No.6

下図の写真は、わが国に生育する針葉樹の葉である。この樹種として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

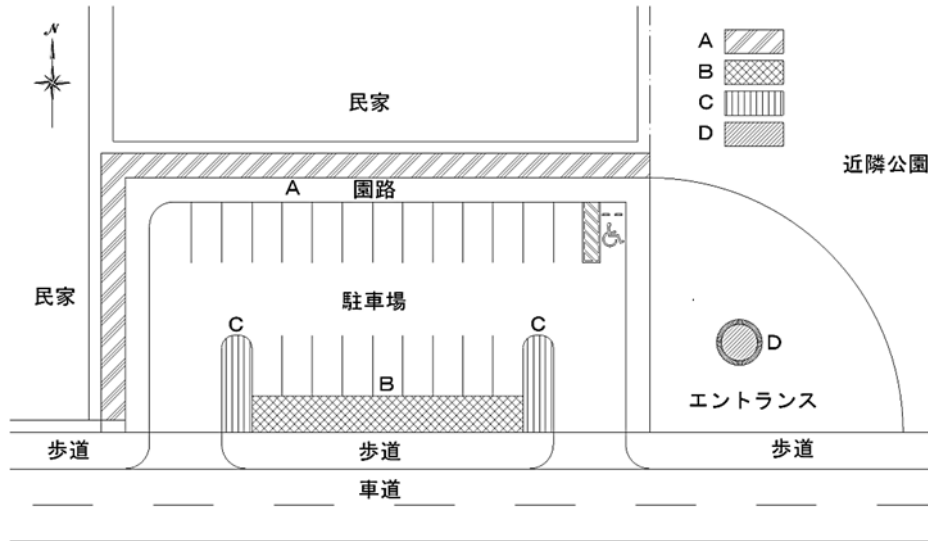
- ① アスナロ (*Thujopsis dolabrata*)
- ② サワラ (*Chamaecyparis psifera*)
- ③ ヒノキ (*Chamaecyparis otusa*)
- ④ コノテガシワ (*Platyclusus orientalis*)



出典：「葉で見わかる樹木」林将之 著

No.7

下図は近隣公園のエントランス部の植栽計画平面図である。以下の設問 (No. 7～No. 10 まで) に答えなさい。



図中Aに、園路と民家との間を仕切る生垣植栽を行いたい。この場合、樹種選定において留意が必要な事項として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 萌芽力があり、刈込みに耐えること
- ② 枝葉が密生して、下枝が枯れにくいこと
- ③ 来園者が触れても怪我をしないように、トゲのない樹種を選定すること
- ④ 冬期間に葉を落とし、風通しが良くなる落葉樹とすること

No.8 (No.7 図参照)

図中Bに、駐車場の遮蔽機能を持った植栽を行いたい。これに適した樹種として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① クロガネモチ (*Ilex rotunda*)
- ② マテバシイ (*Lithocarpus edulis*)
- ③ クヌギ (*Quercus acutissima*)
- ④ アラカシ (*Quercus glauca*)

No.9 (No.7 図参照)

図中Cに、駐車場へ出入りする車からの見通しを確保するための地被植栽を行いたい。この場合、毎年の植替えや追加播種の不要な植物として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① シバザクラ (*Phlox subulata*)
- ② マツバギク (*Lampranthus spectabilis*)
- ③ 宿根バーベナ (*Verbena rigida*)
- ④ カスミソウ (*Gypsophila elegans*)

No.10 (No.7 図参照)

図中Dに、エントランスにふさわしくシンボル性があり、花や紅葉が楽しめる樹木を植栽したい。これに適した樹種としてとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① タイサンボク (*Magnolia grandiflora*)
- ② イチョウ (*Ginkgo biloba*)
- ③ ナツツバキ (*Stewarti pseudocamellia*)
- ④ シラカシ (*Quercusmyrsinifolia*)

No.11

壁面緑化用補助資材に巻き付いて登はんする常緑のつる植物として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① オオイタビ (*Ficus pumila*)
- ② サネカズラ (*Kadsura japonica*)
- ③ ノウゼンカズラ (*Campsis grandiflora*)
- ④ ナツヅタ (*Parthenocissus tricuspidata*)

No.12

草本類の生育型分類において、ロゼット型に分類される植物として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ヨモギ (*Artemisia indica*)
- ② オオバコ (*Plantago asiatica*)
- ③ ススキ (*Miscanthus sinensis*)
- ④ ヒルガオ (*Calystegia pubescens*)

No.13

移植の容易な樹種として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ネムノキ (*Albizia julibrissin*)
- ② カナメモチ (*Photinia glabra*)
- ③ トベラ (*Pittosporum tobira*)
- ④ サツキツツジ (*Rhododendron indicum*)

No.14

剪定を秋から翌春の萌芽前までに行っても、翌春以降の開花に影響がない樹種として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ハナヅノツクバネウツギ (*Abelia grandiflora*)
- ② アジサイ (*Hydrangea macrophylla*)
- ③ レンギョウ (*Forsythia suspensa*)
- ④ サツキツツジ (*Rhododendron indicum*)

No.15

公共用緑化樹木品質寸法基準（案）における用語の定義について、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 「樹高」は、樹木の樹冠の頂端から根鉢の上端までの垂直高をいい、一部の突出した枝も含む
- ② 「幹周」は、根鉢の上端より 1.2m 上の位置を測定し、この部分で枝が分岐しているときは、その下部で測定する
- ③ 「枝張」は、樹木の四方面に伸長した枝（葉）の幅をいう
- ④ 「株立」は、樹木の幹の途中から分岐して、そう状を呈したものをいう

No.16

街路樹に適する樹木の条件として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 大気汚染等の劣悪な生育環境下でも、良好な生育ができる樹勢の強健な樹種
- ② 悪臭・毒性・とげがない樹種
- ③ 萌芽力の強い樹種
- ④ 自然樹形が美しく、整姿・剪定をきらう樹種

No.17

芝生管理の刈込の目的と効果を説明する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 芝のほふく成長を促進させる
- ② 茎葉の緻密度を高め、ターフの形成を促進させる
- ③ 保水性を保ち、発育を促進させる
- ④ 雑草の侵入を抑制する

No.18

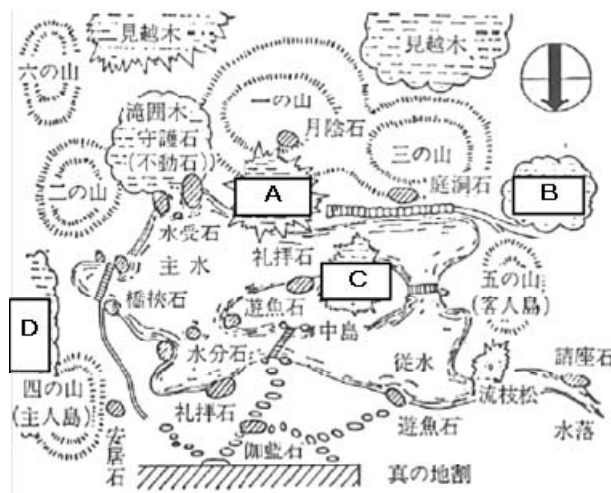
ゴルフコースにおける芝草の適応地域と適応種の関係を示す下表において、表中のA～Dに入る芝草種の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

| 温量指数と適応地域 | グリーン | ラフ |
|---|--------------|--------------|
| 100°C以下 東北南部以北 | A | B |
| 100°C～120°C 関東・上信越の平地 北陸・山陰・中国の一部 | A C | D |
| 120°C以上 関東南部以西の暖地 近畿・瀬戸内・九州 | C ティフトンシバ | D ティフトンシバ |

- ① A：ベントグラス B：ブルーグラス C：コウライシバ D：ノシバ
- ② A：ブルーグラス B：ベントグラス C：ノシバ D：コウライシバ
- ③ A：ブルーグラス B：コウライシバ C：ノシバ D：ベントグラス
- ④ A：コウライシバ B：ブルーグラス C：ベントグラス D：ノシバ

No.19

江戸時代後期の作庭書「築山庭造伝後編」には、役木として定型化した植栽の原則が示されている。図中のA～Dに入る役木の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



出典：「造園学」高橋理喜男 他 著

- ① A：正真木 B：景養木 C：寂然木 D：夕陽木
- ② A：正真木 B：景養木 C：夕陽木 D：寂然木
- ③ A：景養木 B：正真木 C：寂然木 D：夕陽木
- ④ A：景養木 B：正真木 C：夕陽木 D：寂然木

No.20

落葉高木の剪定について、以下の記述のA～Dに入る用語の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

| | | | |
|----------|----------------------------|----------|------------|
| A | 剪定とは枝葉の骨格配置を作るための剪定で、落葉高木の | C | 剪定がこれにあたる。 |
| B | 剪定とは容姿を整えるための剪定で、落葉高木の | D | 剪定がこれにあたる。 |

- ① A：整枝 B：整姿 C：冬季 D：夏季
- ② A：整枝 B：整姿 C：夏季 D：冬季
- ③ A：整姿 B：整枝 C：冬季 D：夏季
- ④ A：整姿 B：整枝 C：夏季 D：冬季

No.21

樹木の剪定対象となる枝として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 徒長枝
- ② さかさ枝
- ③ ふところ枝
- ④ さし枝

No.22

樹高 6.0m、幹周 0.7m、枝張 2.5m のクスノキを、独立木として植栽する場合の樹木支柱として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 三脚鳥居
- ② 八つ掛（丸太）
- ③ 二脚鳥居組合せ
- ④ 樹木地下支柱

No.23

樹木の一部に傷をつけて新しい根を出させ、それを親木から切り離して繁殖させる方法として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 挿木法
- ② 接木法
- ③ 取木法
- ④ 株分け法

No.24

「根回し」を説明する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 根から生じた不定芽の株を親株から切断して、小株に分けて繁殖させること
- ② 葉張り外周線の地上投影部分に、溝を輪状に掘って肥料を敷き込み覆土すること
- ③ 根を切断し、切断部位より細根の発生を促す処置のこと
- ④ 成長した親木の一部を台木に接ぎ合わせる繁殖方法のこと

No.25

植物が必要とする養分に関する以下の記述のA～Cに当てはまる語句の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

A はタンパク質や葉緑素をつくり、生育を促す。**B** はエネルギー代謝や光合成に重要な働きをし、花芽分化の促進や結実を良くする。**C** は浸透圧の調整、pHの安定化に重要な役割を担い、根の生育を早め葉や茎を丈夫にする。

- ① A：チッ素(N) B：リン酸(P) C：カリウム(K)
- ② A：リン酸(P) B：カリウム(K) C：チッ素(N)
- ③ A：チッ素(N) B：カリウム(K) C：リン酸(P)
- ④ A：カリウム(K) B：リン酸(P) C：チッ素(N)

No.26

樹木の病気名、被害部位、被害を受けやすい樹種の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ウドンコ病 … 葉 … マサキ (*Euonymus japonicus*)
- ② コブ病 … 枝 … クロマツ (*Pinus thunbergii*)
- ③ テングス病 … 葉 … ヤブツバキ (*Camellia japonica*)
- ④ コウヤク病 … 枝 … ウメ (*Armeniaca mume*)

No.27

土性名（日本農学会法）について、粘土含有量の多い順に並べたものとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 埴壤土(LL) … 壤土(L) … 砂壤土(SL) … 埴土(C) … 砂土(S)
- ② 埴土(C) … 埴壤土(LL) … 壤土(L) … 砂壤土(SL) … 砂土(S)
- ③ 砂土(S) … 埴土(C) … 埴壤土(LL) … 壤土(L) … 砂壤土(SL)
- ④ 壤土(L) … 埴土(C) … 埴壤土(LL) … 砂土(S) … 砂壤土(SL)

No.28

高木植栽における有効土層に関する説明として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 樹木の根鉢が収まり、さらに根が下方に伸びることができること
- ② 強風のときにも、倒れないだけの根張りを確保できること
- ③ 干ばつのときにも、灌水なしで枯れないだけの水分を保てること
- ④ 植栽時の根鉢の大きさにあわせた厚さとする

No.29

屋上庭園を作る場合の記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① パラペット沿いに管理用通路を45cm幅で設置した
- ② 排水層として真珠岩パーライトを10cm厚で設置した
- ③ ルーフドレインとは別にオーバーフロー用の二次排水口を設けた
- ④ 客土の高さは建築壁面の防水立上りの上端から15cm下までとした

No.30

許容積載荷重が18N/m²の屋上部全面に、低木を主とした植栽地を設ける場合、用いる植栽土壌とその土壌厚の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 人工軽量土壌 … 10cm
- ② 人工軽量土壌 … 20cm
- ③ 自然土壌 … 20cm
- ④ 自然土壌 … 45cm

No.31

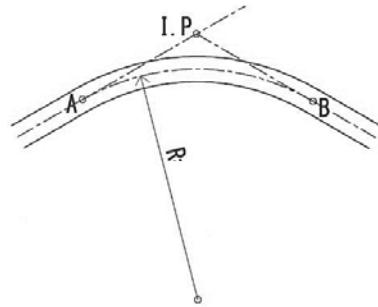
都市公園に設置する園路及び広場に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 園路は原則として幅180cm以上、縦断勾配5%以下とする
- ② 階段を設ける場合は傾斜路を併設しなければならない
- ③ 階段に併設する傾斜路は横断勾配1%以下とする
- ④ 路面は滑りにくい仕上げがなされたものであること

No.32

下図は園路設計の割付寸法図である。曲率半径 $R=36\text{m}$ 、交角 $I=60^\circ$ としたとき、 AB 間の曲線長 CL の値として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

(ただし、円周率 $\pi=3$ として計算)



- ① 約 72m
- ② 約 54m
- ③ 約 36m
- ④ 約 18m

No.33

インターロッキング舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ブロック直下はクッション材として砂を敷設する
- ② 一度、取り外したブロックは再利用が難しい
- ③ 歩道用インターロッキングブロックの標準厚さは、60mm である
- ④ 現場養生が不要であり、敷設後直ちに使用できる

No.34

土系舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ダスト舗装の園路は中央部を端部より少し高く施工する
- ② 耐踏圧性芝生舗装は駐車場を芝生化する場合に採用される工法である
- ③ クレー舗装は混合土をローラーで転圧して舗装する工法である
- ④ 芝舗装は浸透排水が期待できるため排水勾配は不要である

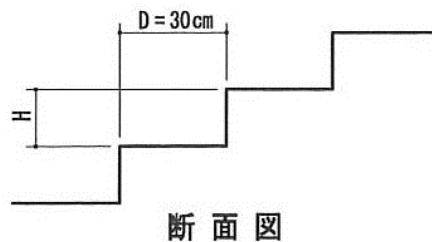
No.35

都市公園に設置する階段に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 階段の幅員は120cm以上とする
- ② 階段の両側は立上がり部を設ける
- ③ 2段式手すりの高さは、上段85cm、下段65cm程度とする
- ④ 段鼻は突き出しを設けて識別しやすくする

No.36

都市公園に設置する階段の踏み面Dcm、蹴上げHcmとしたとき、使い易い寸法の組み合わせとして $D + 2H = A$ という式が目安となる。D=30cmのときのHの数値として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- ① 10cm
- ② 15cm
- ③ 20cm
- ④ 25cm

No.37

都市公園に設置するベンチと野外卓に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ベンチの腰掛け板の高さは40～45cmとする
- ② 野外卓は、ひざが入る高さとして65cm以上を確保する
- ③ ベンチ、野外卓の周辺には、車いす使用者の滞在を考慮して120cm×120cm以上の水平面を確保する
- ④ 杖利用者等の休憩を考慮して、通常より高いベンチを設置することも有効である

No.38

下図に示す滝石組の役石に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

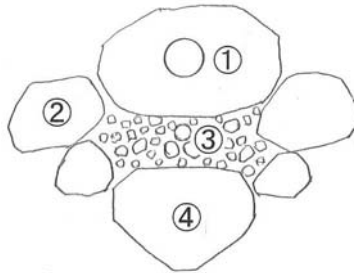


出典：庭園施工自習講座5 庭園施設施工

- ① 水落石
- ② 童子石
- ③ 水分石
- ④ 波分石

No.39

下図に示すつくばいの役石に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- ① 冬の茶会で湯桶を置くための桶石
- ② 夜の茶会で手燭台を置くための燭石
- ③ 余水の跳ね返りを防ぐためゴロタ石を置き並べた水門（海）
- ④ 手水を使う際に乗る踏石

No.40

遊具の安全確保に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 落下高さ 70cm の遊具の安全領域の最小値は 1.8m である
- ② 安全領域は遊具の外形線から外側の方向に確保する
- ③ 落下高さの最大値は幼児用で 2.0m、児童用で 3.0m とする
- ④ 遊具はコンクリートやアスファルトなどの強固な設置面に設置する

No.41

運動施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 陸上競技のトラックの方位は、長軸方向を南北にするのが良い
- ② テニスコートの方位は、長軸方向を真北から西側へ 9～15° 振った位置が良い
- ③ ラグビー場の方位は、長軸方向を南北にするのが良い
- ④ 野球場の方位は観覧者を主とする場合、本塁を北側に配置する

No.42

運動施設の舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① クレイ舗装は降雨後の乾燥に時間がかかり、乾燥するとほこりが立ちやすい
- ② アンツーカ舗装は透水性が低く、降雨による影響も大きい
- ③ ダスト舗装は夏季においても保湿・保水性が高く、砂塵が立ちにくい
- ④ 全天候型舗装は天候に影響されず、乾燥時の埃の発生はほとんどない

No.43

運動施設の排水に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① テニスコートはコート中央を頂点とし、長軸方向に向かって勾配をとる
- ② 野球場はピッチャーズマウンドを中心に滞水しないよう周辺に向かって勾配をとる
- ③ ゲートボール場は短軸方向に5%の横断勾配をとる
- ④ サッカー場では2%以上の横断勾配をつける

No.44

プールに関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 給水水質は、水道協会の上水試験規定及び厚生労働省衛生検査指針で規定された水質に、適合しなければならない
- ② 循環浄化装置には、砂式、藻土式、カートリッジ式などの種類がある
- ③ プールの材料は鋼板、FRP、ステンレスと様々だったが、最近は鉄筋コンクリートがほとんどである
- ④ 循環浄化設備は、1時間あたり少なくともプール容量の1/8以上の処理能力をもつものとする

No.45

都市公園に設置する教養施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 水族館は多様な水生生物を飼育展示し、一般に公開する施設である
- ② 植物園の計画上の留意点として、地形の変化が無いほうが、視覚上の効果がある
- ③ 動物園の役割は生きた動物を育成展示、研究し、一般に公開する施設である
- ④ 市民農園は、農作業を行いながら、健康、余暇の利用、高齢者の生きがづくりなどを進めるものである

No.46

都市公園に設置する車いす使用者用の駐車場に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 駐車施設は、主要な園路に最も近い位置に設置する
- ② 駐車施設の後部には幅員 90cm の通路を設ける
- ③ 駐車施設の幅は 350cm 以上とする
- ④ 駐車施設と通路の間には段差を設けない





No.47

都市公園に設置する水飲みに関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 車いす使用者が水栓（飲み口）を使用しやすいように、水飲み下部の奥行は 30cm 以上のスペースを確保する
- ② 飲み口の高さはG Lより 70～80cm とする
- ③ 手洗い水栓の下は、周囲の舗装と排水グレーチングの間に段差が無い構造とする
- ④ 水飲みは主要公園施設、移動円滑化園路から近い位置に配置する

No.48

ピクトグラム（ピクトグラフ）と名称の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① オストメイト … 
- ② 障害のある人が使える設備 … 
- ③ 飲料水 … 
- ④ 広域避難所 … 

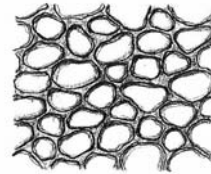
No.49

石積みに関する名称の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

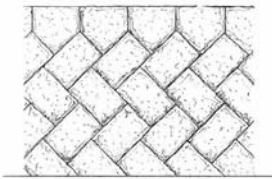
① 崩れ積



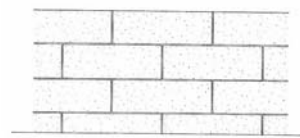
② 玉石積



③ 間知石積 (谷積)



④ 小端積



No.50

転落防止柵の最低高さとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

① 0.8m

② 1.1m

③ 1.5m

④ 1.8m

No.51

給水施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

① ループ型の系統は、水圧を一定に保ちやすい

② 樹枝型の系統は、末端になると水圧が低下しやすい

③ 直結式給水は、管理が難しく、維持管理費も高くつく

④ タンク式給水は、引込本管の水圧が低い場合などに適している

No.52

汚水排水施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 汚水管渠の流速は最小で0.6m/s、最大3.0m/sである
- ② 管の敷設には、高さを調整するために砂を用いた方が容易に施工できる
- ③ 汚水柵の底部に、泥だめを設け、蓋は必要に応じて密閉蓋とする
- ④ マンホールの管径別最大間隔は、管径がφ200mmなら50mである

No.53

照明光における用語と単位、その解説の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 色温度 … K (ケルビン) … 光の色 (絶対値であらわす)
- ② 光束 … l m (ルーメン) … 単位時間当たりに放出される光の量
- ③ 照度 … l x (ルクス) … 単位面積当たりに入射する光束
- ④ 光度 … c d/m² (カンデラ毎平米) … ある方向への光の強さ

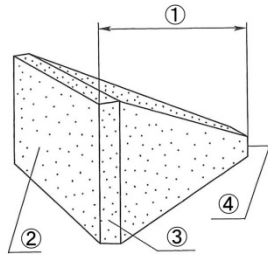
No.54

石材とその特徴に関する組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 花崗岩 … 石質が緻密で硬く吸水率が少ないが、耐火性に劣る
- ② 凝灰岩 … 軟石のため加工が容易で、耐火性に優れる
- ③ 安山岩 … 石質は硬く、耐久性に優れるが、耐火性に劣る
- ④ 大理石 … 石質は緻密で堅硬だが、耐火性、耐酸性に劣る

No.55

下図に示す間知石の部分の名称として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。



*出典：造園修景大事典編集委員会
『造園修景大事典』(1980)

- ① 天端
- ② 面
- ③ 合端
- ④ 友面

No.56

石材の伝統加工のフローとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 荒石→ 荒こぶ取り→ 小叩き→ ノミ切り→ ビシャン→ 荒磨き→ 本磨き→ 水磨き
- ② 荒石→ 荒こぶ取り→ ノミ切り→ ビシャン→ 小叩き→ 荒磨き→ 水磨き→ 本磨き
- ③ 荒石→ 荒こぶ取り→ ノミ切り→ 小叩き→ ビシャン→ 荒磨き→ 本磨き→ 水磨き
- ④ 荒石→ 荒こぶ取り→ 小叩き→ ノミ切り→ ビシャン→ 荒磨き→ 水磨き→ 本磨き

No.57

石材の表面仕上げにおける「ショットブラスト仕上」の記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 砂を圧縮空気とともに吹付け、表面を荒らしたり、一部を被って艶消しの模様に仕上げる
- ② 石材の表面に高熱を加え、結晶体のはじき飛ばされることを利用し、粗面に仕上げる
- ③ ノミ切り程度の表面を切子目のあるハンマーで叩いて、さらに平滑に仕上げる
- ④ 鉄粉を圧縮空気とともに吹付け、表面を荒らして仕上げる

No.58

木材において、気乾比重が「ケヤキ」よりも重いものとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① スギ
- ② アカマツ
- ③ ジャラ
- ④ ヒノキ

No.59

木材に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 年輪に対して直角に製材した木材表面を「板目」という
- ② 幹の中心に近い木材は「心材」と呼ばれ、耐久性が高い
- ③ 木材は末口に近づくほど、辺材の割合が多くなる
- ④ 年輪と平行に製材した木材の樹皮に近い方の面を「木表」という

No.60

コンクリートに関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 引張強度が小さく、ひび割れが生じやすいため、必要に応じて鉄筋を用いる
- ② 練り混ぜてから打ち終わりまでの時間に、制限がある
- ③ 強度は標準養生を行った供試体の、材令 28 日における圧縮強度を基準とする
- ④ 耐久力は大きいですが、火災などの熱に対する抵抗力が小さい

No.61

プラスチックに関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 熱可塑性樹脂は、熱を加えると軟らかくなり、冷やすと硬くなるが、再び加熱するとまた軟らかくなる性質がある
- ② プラスチックの欠点は、熱と紫外線により劣化しやすいことである
- ③ 木材に比べ、圧縮強度は低く、引張強度は高い
- ④ 比重は0.8～2.0程度であり、金属やガラスよりも軽量である

No.62

自然環境保全型の公園づくりに関する記述としてとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 施設整備にあたっては地形や立木に配慮しながら必要最小限とし、雨水は出来るだけ集水し、速やかに排水する
- ② 良好な樹林は基本的に伐採することなく観察林や生物のためのサンクチュアリとして保全する
- ③ 公園内の植生の遷移や林床の状態、生息動物の動態等の環境調査を定期的に行い、長期的な保全計画を作成する
- ④ 単調なヨシ湿原の一部に大小いくつかの池を造成し、動植物の生息生育環境の多様化を図る

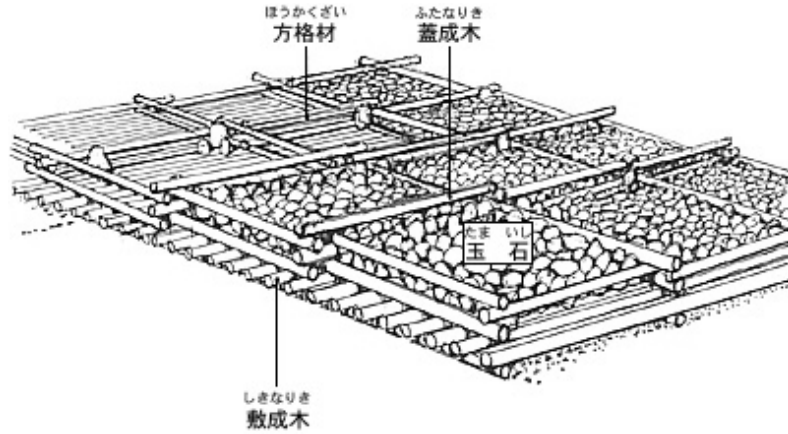
No.63

防災公園の設計に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 避難広場は一人当たりの避難面積を0.5㎡とし、全体をハードな舗装材等で覆う
- ② 公園の入口幅員は、大型緊急車両の走行等を勘案して設定し、段差や急勾配なスロープは避ける
- ③ 公園外周部は、防火機能を持たせるため、隙間のない植栽密度を高めた樹林帯とする
- ④ 緊急時の車両は、園路や広場に関係なく通行するため、通常時の園路幅は人がすれ違える幅を設定する

No.64

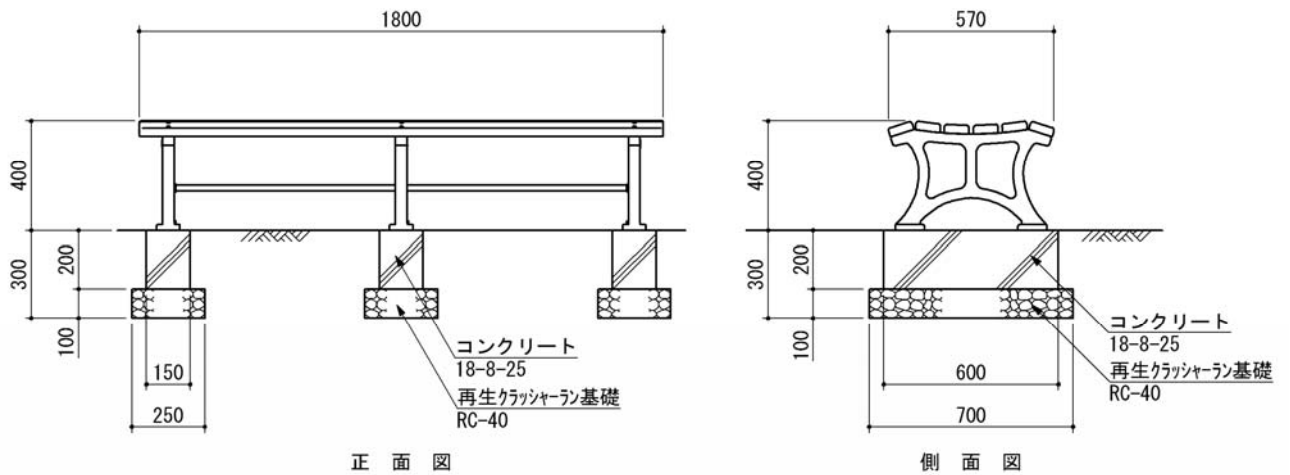
下図に示す伝統的河川工法の名称として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- ① 詰杭工
- ② 枠工
- ③ 蛇籠工
- ④ 木工沈床

No.65

下図に示すベンチを設置するために必要な型枠の数量として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- ① 0.45 m²
- ② 0.60 m²
- ③ 0.90 m²
- ④ 1.35 m²

No.66

造成におけるラウンディングに関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 法肩部に丸みを付け造成法面を目立たなくする
- ② 用地の地割りで有効利用を図る
- ③ 不安定なのり肩部の風化土壌を除去する
- ④ のり面と周辺植生の景観を一体化させる

No.67

表土の保全・活用に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 表土の活用方法には、表土の復元、客土、土壌の改良がある
- ② 乾燥や飛散防止のため、できるだけ風当たりの弱い場所に保管する
- ③ 表土の仮置きは、土工機械による締固め・転圧を行う
- ④ 表土の仮置きは、土壌の圧密による固結化を防ぐため、高さを1.5mまでとする

No.68

3.0haの敷地に平均0.9mの盛土をするのに必要な地山の掘削量として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

ただし、掘削する地山の土質は砂質土で、L(ほぐし)=1.2、C(締固め)=0.9とする。

- ① 27,000m³
- ② 29,160m³
- ③ 30,000m³
- ④ 32,400m³

No.69

C B R 試験に関する記述で、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 路床土、あるいは路盤材料の支持力指数を決定する
- ② 構造物の支持力を推定する
- ③ 軟弱地盤の沈下を推定する
- ④ 土壌の透水性を判別する

No.70

造園分野で用いられる主な土壌名とその成因の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 黒ボク … 湿性植物遺体の未分解堆積物
- ② 赤土 … 火山灰の風化物
- ③ 真砂土 … 堆積粘土層の風化物
- ④ 泥炭 … 内湾・湖沼・湿地の水成堆積物

No.71

造成に関する略記号とその意味の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① GH : 現況高
- ② FH : 計画高
- ③ DL : 基準高線
- ④ CA : 盛土面積

No.72

切土における標準のり面勾配と、土質、のり高の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 勾配 1:0.8 … 砂質土 (密実なもの) … 切土高 5m 以下
- ② 勾配 1:1.2 … 砂質土 (密実でないもの) … 切土高 5~10m
- ③ 勾配 1:1.0 … 粘性土 … 切土高 10m 以下
- ④ 勾配 1:0.8 … 岩塊又は玉石混じりの粘性土 … 切土高 5m 以下

No.73

雨水排水計画の手順として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 排水区域の設定 → 雨水流出量の算定 → 排水施設の決定 → 管渠の設計
- ② 管渠の設計 → 排水区域の設定 → 雨水流出量の算定 → 排水施設の決定
- ③ 排水施設の決定 → 管渠の設計 → 排水区域の設定 → 雨水流出量の算定
- ④ 管径の決定 → 雨水流出量の算定 → 排水区域の設定 → 管底高の設定

No.74

合理式による雨水排水量を算定する際に使用する数式として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

ただし、 Q =雨水量(m^3/s) c =流出係数 i =降雨強度(mm/h) A =流域面積(ha) n =粗度係数

- ① $Q=360 \times n \times i \times A$
- ② $Q=1/360 \times n \times i \times A$
- ③ $Q=360 \times c \times i \times A$
- ④ $Q=1/360 \times c \times i \times A$

No.75

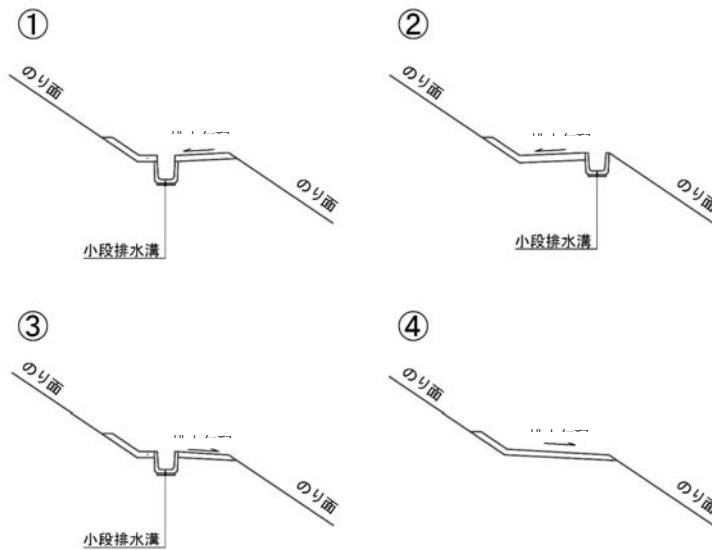
下記に示すA～Dにおける雨水流出係数を、大きい順番に並べたものとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

A：勾配の急な山地、 B：芝・樹木の多い公園、 C：水面、 D：道路

- ① A > B > C > D
- ② C > A > B > D
- ③ C > D > A > B
- ④ D > C > B > A

No.76

のり面に設置する排水施設の配置として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



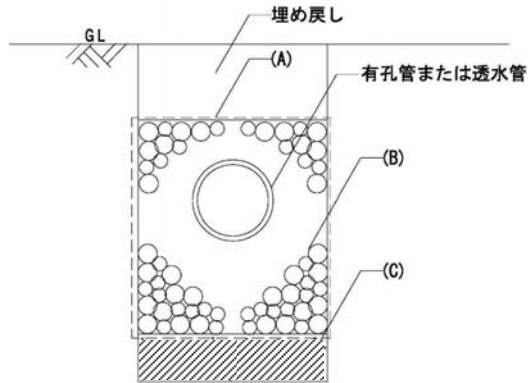
No.77

管渠の種類と特性に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 陶管 … 衝撃にやや弱く、大径管の使用に留意が必要である
- ② 遠心力鉄筋コンクリート管 … 緻密で堅固なコンクリート製で高強度である
- ③ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU管) … 軽量で取扱いが容易であり、低温時においても耐衝撃性に優れる
- ④ 透水性コンクリート管 … 浸透施設の浸透トレンチなどに用いられる

No.78

下図に示す標準的な浸透トレンチの断面図においてA～Cに用いる材料の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- ① A：遮水シート B：単粒度碎石 C：敷砂
- ② A：遮水シート B：粒度調整碎石 C：単粒度碎石
- ③ A：透水シート B：単粒度碎石 C：敷砂
- ④ A：透水シート B：粒度調整碎石 C：単粒度碎石

No.79

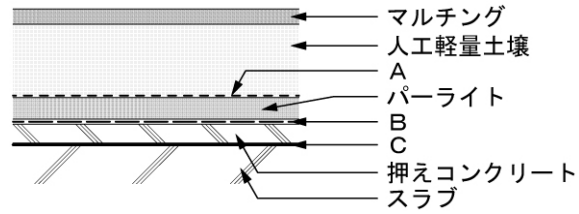
枠内に示す文章のAとBにあてはまる語句の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

雨水流出抑制型施設は、雨水そのものを **A** させ、雨水の流出を減少または遅くして **B** を低減させる施設で、雨水調整池・遊水池・トレンチ管等がある。

- ① A：分散 B：ピーク流出量
- ② A：貯留・浸透 B：ピーク流出量
- ③ A：分散 B：平均流出量
- ④ A：貯留・浸透 B：平均流出量

No.80

下図に示す人工軽量土壌を用いた屋上緑化の標準断面図において、(A)～(C)の使用資材の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- ① A：防水シート B：防根シート C：透水シート
- ② A：防根シート B：透水シート C：防水シート
- ③ A：透水シート B：防水シート C：防根シート
- ④ A：透水シート B：防根シート C：防水シート